

# 平成30年度国際共同研究強化（A） 研究計画調書作成・記入要領（新規）

研究計画調書は、科研費の交付を申請しようとする者が、公募要領に基づいてあらかじめ当該研究計画に関する内容を記入し、独立行政法人日本学術振興会（以下、「日本学術振興会」という。）あて提出するものであり、日本学術振興会の国際科学研究費委員会における審査資料となるものです。

つきましては、下記の点に留意した上で、誤りのないように作成してください。

なお、国際科学研究費委員会における審査の結果、採択された場合には、交付内定の通知が行われ、この通知に基づき交付申請書を提出し、研究計画等が適正と認められた場合に科研費が交付されることとなります。

## 記

- ・この作成・記入要領は、「国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（A））」（以下、「国際共同研究強化（A）」とする。）「新規応募」の研究計画調書作成のための要領です。
- ・研究計画調書の作成に当たっては、公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持って作成してください。
- ・各欄のタイトルが必ず頁の先頭に来るようにしてください。また、各項目で定められた頁数は超えないでください。なお、各項目の指示に沿って作成をした結果、空白の頁が生じても構いません。
- ・様式上で「※」で示している文章については削除して構いません。
- ・英語で作成された研究計画調書も受け付けます。
- ・提出前に、PDF ファイルに変換された研究計画調書の内容に不備（文字や図表等の欠落、文字化け等）がないか、必ず確認してください。

## I 様式設定

様式の余白は、上 20mm、下 20mm、左 25mm、右 25mm で設定してあります。余白の設定を変更すると、審査資料を作成する際、文字等の欠落等の恐れがありますので、設定を変更しないでください。

## II 研究計画調書（Web入力項目）

以下の項目は、「研究計画調書」の「Web入力項目」であり、作成に当たっては、研究代表者が所属する研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより科研費電子申請システム（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行ってください。

Web入力項目は、「電子申請システム」によって作成される研究計画調書（PDF ファイル）の前半部分（「審査希望分野」「研究代表者氏名」等）及び後半部分（「研究経費と各経費の説明」「研究費の応募・受入等の状況」）を構成することとなります。

Web入力項目に係る作成・入力要領は「平成30年度研究計画調書（Web入力項目）（国際共同研究強化（A））作成・入力要領」（17頁）を参照してください。

### ○Web入力項目「前半部」

- ・審査希望分野
- ・研究代表者氏名
- ・年齢

- ・研究代表者所属研究機関・部局・職
- ・学位、エフォート
- ・研究課題名
- ・現在採択されている課題（※）の情報
- ・通算渡航予定期間
- ・渡航先及び渡航期間
- ・応募にあたって誓約すべき事項
- ・開示希望の有無

※すでに採択されており、本応募研究課題によって格段に発展させようとしている「基盤研究（海外学術調査を除く）」又は「若手研究」の研究課題（以下、「基課題」という。）

○Web入力項目「後半部」

- ・研究経費と各経費の説明
- ・研究費の応募・受入等の状況

### Ⅲ 研究計画調書（添付ファイル項目）

以下の項目は、「研究計画調書（添付ファイル項目）」の内容であり、研究計画調書（PDF ファイル）の中間部分に当たります。

研究代表者は、「研究計画調書（添付ファイル項目）」について、日本学術振興会の科学研究費助成事業ホームページから様式を取得し記入したものを、「電子申請システム」にアクセスして添付してください（3MB以上のファイルは添付不可）。

作成に当たっては、下記の指示及びそれぞれの欄の指示に従ってください。審査においては多数の応募研究課題が審査に付されることを考慮し、11ポイント以上の大きさの文字等を使用してください。

※電子申請システム上に添付する際は、記入済みのファイルを、「研究計画調書管理」画面の「添付ファイル項目」の「S-61」の欄にアップロードしてください。

(1)「国際共同研究の研究目的、研究方法など(基課題の研究目的、研究方法及び進捗状況等を含む)」欄

本欄には、今回応募する研究計画において何をしようとしているのか、その全体像を明らかにするため、研究計画調書に記載している指示に従って概要を含め記述してください。

(2)「国際的な環境（海外共同研究者、外国機関等）で研究することの意義・必要性」欄

本欄には、審査委員が今回応募する研究計画についてより理解を深めるため、国際的な環境で海外共同研究者との研究を行う意義や必要性について、研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。

(3)「海外共同研究者の役割及び準備状況」欄

本欄には、今回応募する研究計画において海外共同研究者が担う役割、及び、海外共同研究者や渡航予定の機関との準備・調整状況について、研究計画調書に記載している指示に従って記入してください。なお、留学等単なる海外派遣を対象とするものではありませんので留意してください。

(4)「研究代表者の研究業績」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記入してください。なお、論文を記載する際、電子ジャーナル等で頁数の表示がない場合には、「最初と最後の頁」の記入は不要です。また、産業財産権等の知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。（特許出願番号等）

(5)「今後の国際活動における応募者自身の役割及び国際共同研究による波及効果」欄

研究計画調書に記載している指示に従って記入してください。

**(6) 「人権の保護及び法令等の遵守への対応」欄**

研究計画調書に記載している指示に従って記述してください。なお、該当しない場合には、「該当なし」と記入してください。

※「研究経費と各経費の説明」欄、「研究費の応募・受入等の状況」欄は平成30年度公募より電子申請システムにより入力することとしています。当該欄の入力に当たっては、「平成30年度研究計画調書（Web入力項目）（国際共同研究強化（A）作成・入力要領）（17頁）を確認してください。